

大阪市立 桃谷中学校

所在地：大阪府大阪市生野区勝山北3丁目13-44

生徒数：277名

校長 原口 貴美子 様



現状・課題感

- 言語力の向上により、論理的な思考力や自身の意見を発信できる力を育み、主体的に課題解決できる生徒の育成をを目指している。
- コミュニケーション力・言語力の向上を目指し、全教育活動で言語化（言葉で伝える）活動を取り入れ、言語力の向上に日常的に取り組んでいる。
- 全教科で「読む」→「考える」→「書く」の学習の流れを取り入れ、言語活動に取り組み、国語は、語彙力を高め、豊かな表現活動に取り組んでいる。

導入形態

- 対象学年・・・中学3年生（2学期受検）
- 受検級・・・4級、3級
- 指導概要・・・国語の授業内
総合的な学習の時間
- 教材・・・文章力ステップ4級、3級
／文章読解・作成能力検定4級、3級

文章検導入のポイント

3カ年を通じた体系的な言語力指導体制を確立

- 各種検定やテストの特徴を利用し、3年間を通じた体系的な言語力の育成体制を構築した。
- その中で、文章検は文章読解力と文章作成力の育成及び3年間の言語力育成指導の成果を測定するツールとして位置づいている。
- また、文章検は実社会で求められるコミュニケーション能力の育成に役立つ点も導入の決め手となった。

文章検導入の効果

客観的な指標の導入による明確な目標設定

- 言語力向上の指標の一つとして、客観的な評価ができているとともに、高校入試などで問われる、「資料の読み取り」や「条件のある作文」など、「読む」→「考える」→「書く」力の育成にもつながっている。
- 検定という分かりやすい指標による目標設定により、生徒・教員ともに3年間の見通しを立てることが可能になり、体系的な言語力向上の取り組みが実現できている。

言語力の体系的な育成

1年生

語彙力の育成

【漢字能力検定】

言語力の基盤となる、漢字語彙力の育成と測定を行う。

2年生

読解力の現状把握・育成

【リーディングスキルテスト】

生徒の読解力を測定し、現状を把握した上で、効果的な読解力育成指導を行う。

3年生

文章読解力の育成、効果測定

【文章読解・作成能力検定】

3年間の言語力育成指導の成果を読解力と表現力（文章の記述）の測定を通じて効果測定を行う。

※2022年4月の取材内容に基づきます。